

2025年度
宮崎県中山間部
さくらねこTNR
地域集中プロジェクト
実施報告書



公益財団法人
どうぶつ基金
ANIMAL ACTION FUND

主催
公益財団法人どうぶつ基金

申請者
宮崎県高千穂町・五ヶ瀬町・日之影町

後援
宮崎県

期間
2025年4月～2025年11月

CONTENTS

- 01 実施決定までの経緯
- 02 各町の申請時の状況について
- 03 プロジェクト始動の背景と体制
- 04 業務・費用分担
- 05 実施までの行程
- 06 どうぶつ基金病院
- 07 実施スケジュール
- 08 手術数
- 09 手術数と妊娠率の推移など
- 10 ボランティアとその役割
- 11 決起会
- 12 メディア
- 13 感謝状贈呈式
- 14 官民協働の理想のかたち
- 15 プロジェクトリーダーより
- 16 まとめ



01 実施決定までの経緯

■ 申請事業の背景・必要性及び目的

宮崎県の最北西部に位置する西臼杵郡（高千穂町、五ヶ瀬町、日之影町）は県の中心部から距離があり、近隣に不妊手術を専門に行うスパイクリニックが存在しません。

3町はこれまでも「さくらねこ無料不妊手術事業」に参加し、TNR活動に取り組んでこられました。高齢化や過疎化の進行により、猫の捕獲や遠方への搬送が困難なケースが多く、未手術の猫による繁殖の連鎖を断ち切ることができない状況が続いていました。

こうした現状を受け、3町からの要請に基づき、2024年10月にどうぶつ基金が生息調査を実施いたしました。

その結果、高千穂町で186頭、五ヶ瀬町で159頭、日之影町で164頭の未手術の猫が確認され、一部地域では子猫の遺棄などの問題も発生していました。また、餌やりを行っていた高齢者の入院や施設入所により、突然餌を失う猫が出るなど、地域の状況は深刻化していました。

この調査結果を踏まえ、どうぶつ基金、3町、宮崎県の三者で協議を行ったところ、地元住民および行政の全面的な協力体制が整っていることが確認されました。

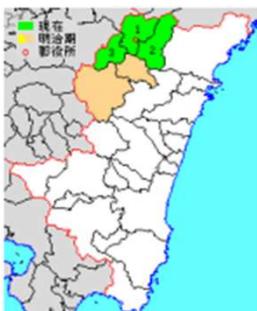
これを受け、どうぶつ基金は3町および宮崎県と連携し、高齢化・過疎化が進む中山間地域における「さくらねこTNR地域集中プロジェクト」を実施することを決定いたしました。

■ 西臼杵郡(宮崎県高千穂町・五ヶ瀬町・日之影町)

九州山地の中央部に位置し、国の名勝「高千穂峡」などもあります。

「南国宮崎」のイメージとは異なり標高が高いため冷涼で、冬には積雪もあります。

人口：16,856人 面積：686.94km²（2024年9月1日時点）



※宮崎県公式サイト、各町観光協会サイトより抜粋。

02 各町の申請時の状況について



■ 高千穂町（たかちほちょう）

さくらねこ無料不妊手術事業

- 行政枠：404頭（2022年度4月から2024年度9月）
- 未手術確認数：186頭（2024年度9月調査）

| 地区名 | 世帯数 | 平均年齢 |
|----------|------|-------|
| 三田井（ミタイ） | 2877 | 58.1 |
| 岩戸（イワト） | 765 | 60.1 |
| 田原（タバ） | 522 | 61.59 |
| 上野（カミノ） | 695 | 57.5 |

人口：10,851
世帯数：4,859
平均年齢：55.16
65歳以上割合：45.2%

高千穂町役場

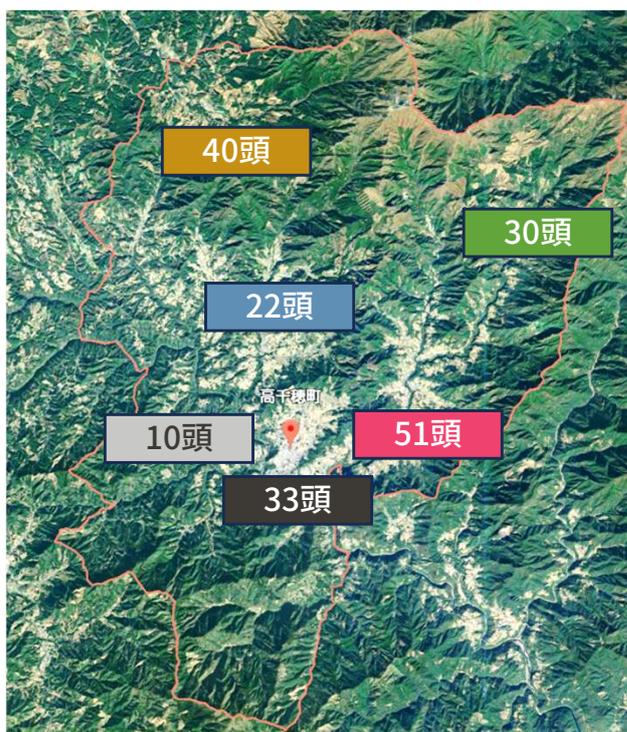
〒882-1101 宮崎県西臼杵郡高千穂町三田井13
TEL：0982-73-1203

活動ボランティアグループ

高千穂町まち.ねこ共生環境づくり協議会



■ 高千穂町猫分布図



| | |
|-----------|-----|
| 五ヶ所・河内地区 | 40頭 |
| 岩戸地区 | 30頭 |
| 上野地区 | 22頭 |
| 三田井地区 | 51頭 |
| 押方地区（三田井） | 10頭 |
| 向山地区（三田井） | 33頭 |

02 各町の申請時の状況について



■ 五ヶ瀬町（ごかせちょう）

さくらねこ無料不妊手術事業

- 行政枠：213頭（2022年度4月から2024年度9月）
- 未手術確認数：159頭（2024年度9月調査）

| 地区名 | 世帯数 | 平均年齢 |
|------------|-----|-------|
| 三ヶ所（サンカシヨ） | 937 | 51.82 |
| 桑野内（クワノウチ） | 186 | 57.06 |
| 鞍岡（クラオカ） | 367 | 59.69 |

人口：3,318
世帯数：1,490
平均年齢：54.66
65歳以上割合：45.2%

五ヶ瀬町役場

〒882-1203 宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町三ヶ所1670

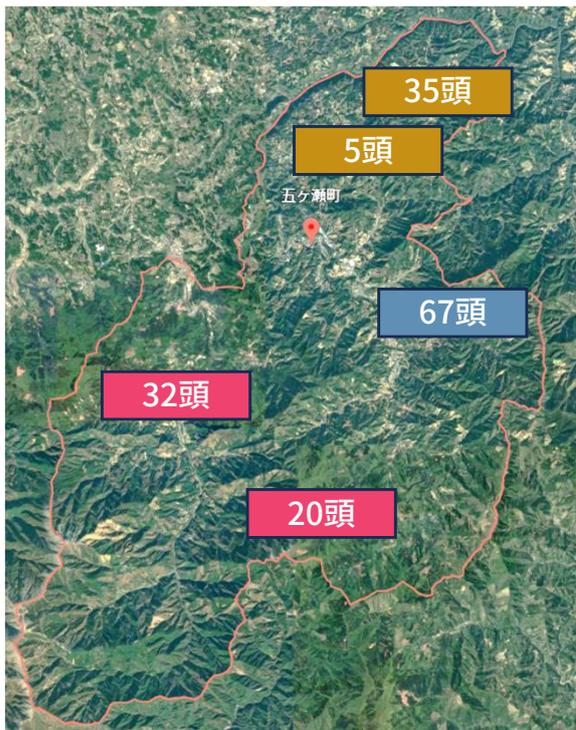
TEL：0982-82-1704

活動ボランティアグループ

鞍岡地区女性部



■ 五ヶ瀬町猫分布図



| | |
|-------|-----|
| 桑野内地区 | 35頭 |
| 桑野内地区 | 5頭 |
| 三ヶ所地区 | 67頭 |
| 鞍岡地区 | 32頭 |
| 鞍岡地区 | 20頭 |

02 各町の申請時の状況について



■ 日之影町（ひのかげちょう）

さくらねこ無料不妊手術事業

- ・ 行政枠：2024年度10月行政登録予定
- ・ 未手術確認数：164頭（2024年度9月調査）

人口：3,439

65歳以上割合：48.8%

世帯数：1,575

80代以上の人口：17.9%

平均年齢：57.35

日之影町役場

〒882-0401 宮崎県西臼杵郡日之影町七折9079

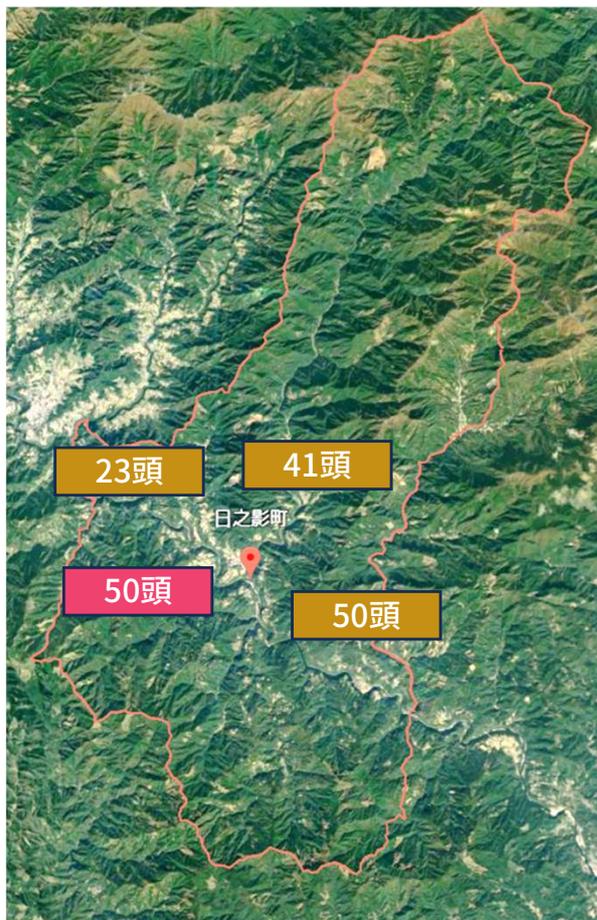
TEL：0982-87-3802

活動ボランティアグループ

住民有志：4～5名



■ 日之影町猫分布図



| | |
|------|-----|
| 七折地区 | 23頭 |
| 七折地区 | 41頭 |
| 七折地区 | 50頭 |
| 八戸地区 | 50頭 |



■ 申請事業の各地域の状況について

西臼杵郡の3町（高千穂町・五ヶ瀬町・日之影町）は、過疎化・高齢化が進む中猫の繁殖が進み下記のような状況が問題となっていました。

- ・ 猫に関わっている多くが高齢者であり、捕獲・運搬が担えない
- ・ 一部住民が、仔猫をダム、川等に捨てている
- ・ 高齢者死亡、入院、入所により、餌をもらえなくなる猫がいる
- ・ スペイククリニックが近隣に存在しない

西臼杵郡には動物愛護団体がなく、ボランティアや婦人会によりこれまでTNRが実施されてきました。

一斉TNRを実施するにあたり、主として活動に携わることができる団体がなく、行政の協力が必要不可欠と判断をしました。実施決定には、西臼杵郡の3町の行政と宮崎県の協力が約束されたことが決定の大きな要因となりました。

■ プロジェクトの体制





■ 業務と費用の分担について

どうぶつ基金と行政が下記の通り業務と費用を分担しました

| | 公益財団法人どうぶつ基金 | 行政 |
|------|---|---|
| 業務分担 | <ul style="list-style-type: none"> ・獣医師の手配 ・手術タグ提供 ・横断幕提供及び管理 ・広報（メディア対応、チラシ作成） ・無料不妊手術チケット配分 ・プロジェクトリーダー配置 | <ul style="list-style-type: none"> ・診療施設の運営管理 ・ボランティアの手配及び管理 ・受付業務 ・集計（エクセル） ・猫の管理（術前、術後） ・胎児の処理 ・ゴミの処理 ・広報（メディア対応、SNS他） ・どうぶつ基金への報告 |
| 費用分担 | <ul style="list-style-type: none"> ・不妊手術、ワクチン、ノミダニ駆除薬 ・タグの費用 ・プロジェクトリーダーの交通費、宿泊費 ・物品送料 | <ul style="list-style-type: none"> ・獣医師、プロジェクトリーダー、ボランティアの弁当、飲料 ・獣医師の交通費、宿泊費 |

■ 人員

行政職員（1名～） / プロジェクトリーダー・住民（4名～） / 捕獲・運搬（2名～）

■ 使用捕獲機数

120台 宮崎県所有40台 / プロジェクトリーダー所有50台 / 高千穂町30台

※1日の手術可能数×2日分の捕獲機が必要です

■ 会場備品

ブルーシート、長机3台、イス10脚、ペットシート、筆記用具



行程

| 月 | 詳細 |
|--------------|--|
| 2024年 11月 | <p>3町との協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協定書締結時期の確認 ・ 生息調査呼びかけ依頼 ・ 行政予算確認 <p>・ どうぶつ基金⇄宮崎県協議</p> <p>・ どうぶつ基金手術日程調整</p> <p>・ 手術会場候補施設確認</p> |
| 12月 | <p>どうぶつ基金広報準備</p> <p>主力ボランティア会議</p> |
| 2025年 1月 | <p>捕獲ボランティア講習会（各町にて）</p> <p>各行政との生息状況確認</p> <p>五ヶ瀬町捕獲場所確認</p> |
| 2月 | <p>3町生息調査呼びかけ依頼（最終）</p> <p>行政準備物確認</p> <p>（獣医師お弁当、ブルーシート、テント、ペットシート類）</p> |
| 3月 | <p>どうぶつ基金プレスリリース</p> <p>スタッフ確保人数確認</p> <p>捕獲器確認</p> <p>猫タグ等、事務用品確認</p> |





■ 移動手術車

獣医療器機を設置した移動式の手術室



1. 少人数で効率的に手術を実施できました

移動手術車は、毛刈りから不妊手術までを獣医師が車内で完結でき、1日40～50頭を獣医師1名と2～4名のスタッフで実施できました。

従来の約10名体制と比べ、人員負担を大幅に削減できました。

2. 会場設営の負担を軽減できました

滅菌済み設備が整っていたため、到着後すぐに手術を開始できました。準備作業が最小限で済み、行政職員・ボランティア双方の負担軽減につながりました。

3. 地理的条件に左右されず手術を提供できました

車両が入れる場所であれば、離島・山間部・僻地でも実施でき、医療アクセスが限られた地域でも安定したTNRを提供できました。

【結論】

今回の取り組みにより、移動手術車は「さくらねこTNRを全国で迅速かつ継続的に実施する」ための有効な基盤であることが再確認できました。

人員削減、設営負担の軽減、地理的制約の解消、常設病院が難しい地域への対応力など、多面的な効果が明らかとなり、「殺処分ゼロ」に向けた重要な推進力となることが示されました。



■ 処置内容

不妊手術（オス・メス）、3種混合ワクチン、補液、ノミ・ダニ駆除（マイフリーガード）、耳先のV字カット

手術時間：オス 1-2分 メス5分 墮胎手術15分-30分

麻酔時間：30-60分

1日（約8時間）獣医1名の手術数：約40-50頭（オス50%、メス50%）

■ 獣医師

どうぶつ基金病院院長
長井 和樹（ながい かずき）

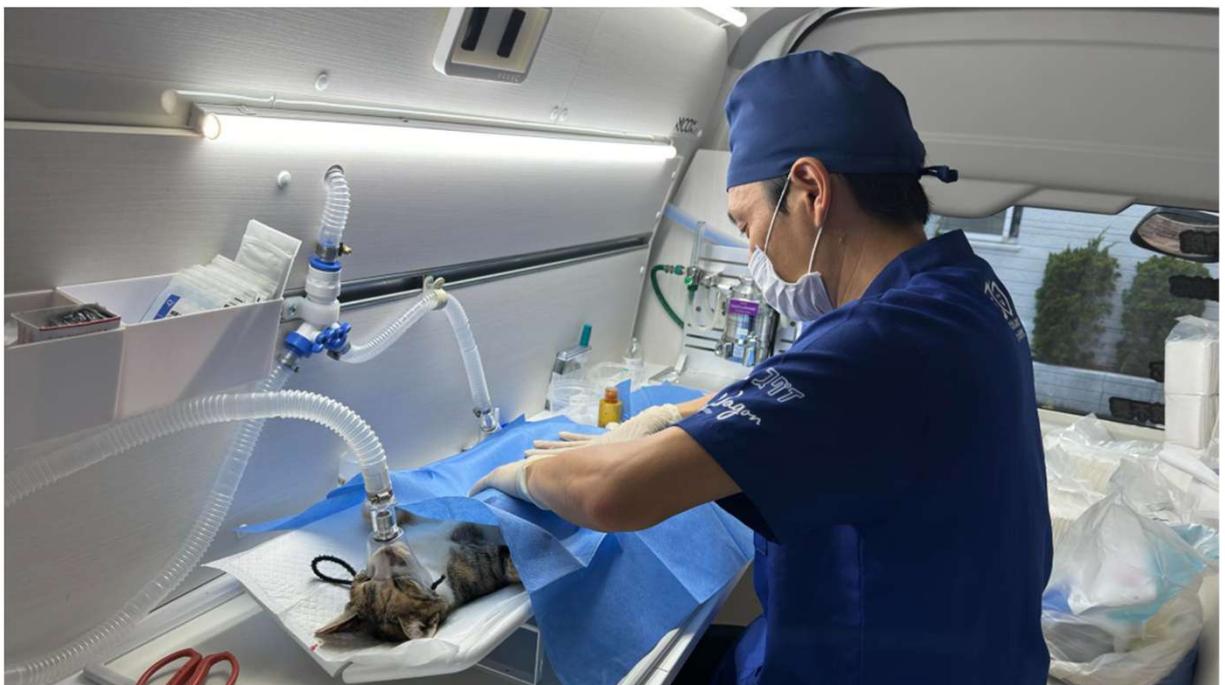
山口大学農学部獣医学科卒

熊本市職員として食肉衛生検査所、動植物園、動物愛護センターに勤務

2024年に不妊手術専門病院を開業

同年よりどうぶつ基金TNRプロジェクトの院長を務める。

長崎県壱岐島をはじめとする離島や宮崎県の山間部においてTNR活動を精力的に展開し、地域の不妊手術体制の整備と殺処分ゼロの実現に向けて尽力している。





■ 実施日、人員配置

手術日の人員体制（準備日は除く）

| 手術実施日 | 手術実施場所 | | 行政職員 (名) | ボランティア (名) | 手術頭数 |
|--------|--------|---------|-------------|---------------|-----------|
| 4月23日 | 五ヶ瀬町 | 旧鞍岡中学校跡 | 3 | 5 | |
| 4月24日 | 五ヶ瀬町 | 旧鞍岡中学校跡 | 2 | 8 | |
| 4月25日 | 五ヶ瀬町 | 旧鞍岡中学校跡 | 2 | 6 | |
| 4月26日 | 五ヶ瀬町 | 旧鞍岡中学校跡 | 1 | 9 | 123 |
| 5月27日 | 五ヶ瀬町 | 旧鞍岡中学校跡 | 2 | 5 | |
| 5月28日 | 五ヶ瀬町 | 旧鞍岡中学校跡 | 4 | 5 | |
| 5月29日 | 五ヶ瀬町 | 旧鞍岡中学校跡 | 3 | 8 | |
| 5月30日 | 五ヶ瀬町 | 旧鞍岡中学校跡 | 2 | 5 | 123 |
| 6月24日 | 日之影町 | 大人歌舞伎の館 | 3 | 5 | |
| 6月25日 | 日之影町 | 大人歌舞伎の館 | 3 | 4 | |
| 6月26日 | 日之影町 | 大人歌舞伎の館 | 4 | 8 | |
| 6月27日 | 日之影町 | 大人歌舞伎の館 | 3 | 5 | 126 |
| 7月23日 | 日之影町 | 大人歌舞伎の館 | 5 | 6 | |
| 7月24日 | 日之影町 | 大人歌舞伎の館 | 5 | 7 | |
| 7月25日 | 日之影町 | 大人歌舞伎の館 | 4 | 6 | |
| 7月26日 | 日之影町 | 大人歌舞伎の館 | 3 | 3 | 144 |
| 9月17日 | 高千穂町 | 田原出張所 | 6 | 6 | |
| 9月18日 | 高千穂町 | 田原出張所 | 7 | 5 | |
| 9月19日 | 高千穂町 | 田原出張所 | 6 | 8 | 129 |
| 11月11日 | 高千穂町 | 田原出張所 | 5 | 6 | |
| 11月12日 | 高千穂町 | 田原出張所 | 5 | 7 | |
| 11月13日 | 高千穂町 | 田原出張所 | 4 | 9 | 128 |
| | | | 述べ 82人 | 述べ 136人 | 計 773頭 |

会場には原則4名以上のスタッフを配置、半日交代などの部分的な参加者を含みます。どうぶつ基金プロジェクトリーダー山本、長井獣医師は全日程参加のため含まず。



■ スケジュール

| | 時間 | タイムスケジュール | 詳細 |
|-----|----------------|--------------------|-----------------------------|
| 前日 | 10:00 | プロジェクトリーダー 会場入り | 会場設営 |
| | 13:00 | 獣医師会場入り | 捕獲状況確認 (捕獲器は事前に役場から配布) |
| | 13:30 | 朝礼・手術開始 | 搬入受付準備 |
| | 16:30 | 終礼・手術終了 | |
| 1日目 | 07:00 | プロジェクトリーダー 会場入り | 搬入受付 |
| | 08:00 | スタッフ会場入り | 手術開始準備 |
| | 08:30 | 獣医師会場入り | |
| | 09:00 | 朝礼・手術開始 | 術前術後管理・作業 |
| | 12:00 | 昼食休憩 | |
| | 13:00 | 手術開始 | お迎え連絡開始 (リターン・捕獲器返却説明) |
| | 16:30 17:00 | 終礼・手術終了 解散 | 捕獲運搬スタッフ→現場へ |
| 2日目 | 07:00 | プロジェクトリーダー 会場入り | 搬入受付 |
| | 08:00 | スタッフ会場入り | 捕獲器返却対応 →次の現場へ(捕獲運搬スタッフ) |
| | 08:30 | 朝礼・獣医師会場入り | 術前術後管理・作業 |
| | 09:00 | 手術開始 | |
| | 12:00 | 昼食休憩 | お迎え連絡開始 |
| | 13:00 | 手術開始 | (リターン・捕獲器返却説明) |
| | 16:30 | 終礼・手術終了 | 捕獲運搬スタッフ→現場へ |
| | 17:00 | 解散 | |
| 3日目 | 07:00 | プロジェクトリーダー 会場入り | 搬入受付 |
| | 08:00 | スタッフ会場入り | 手術開始準備 |
| | 08:30 | 朝礼・獣医師会場入り | 捕獲器返却対応 |
| | 09:00 | 手術開始 | →役場移動(捕獲運搬スタッフ) |
| | 12:00 | 昼食休憩 | |
| | 13:00 | 手術開始 | お迎え連絡開始 |
| | 16:30 | 終礼・手術終了 | (リターン・捕獲器返却説明) |
| | 17:00 | 解散 | お迎え完了→会場撤去作業完了 |

全日、プロジェクトリーダーが7時に会場入りし、準備を整える



■ 手術頭数

予定頭数 : 100頭/月 計400~500頭

対象 : 行政が必要と認めた猫

| | オス | メス | メス(妊娠) | 耳カットのみ | 計 |
|-----|-----|-----|--------|--------|-----|
| 第1回 | 58 | 40 | 25 | 0 | 123 |
| 第2回 | 58 | 51 | 14 | 0 | 123 |
| 第3回 | 56 | 52 | 18 | 0 | 126 |
| 第4回 | 60 | 77 | 7 | 0 | 144 |
| 第5回 | 61 | 65 | 3 | 0 | 129 |
| 第6回 | 60 | 67 | 0 | 1 | 128 |
| 合計 | 353 | 352 | 67 | 1 | 773 |

【死亡頭数】 0頭 【墮胎数】 183頭

■ 手術した猫の性別割合



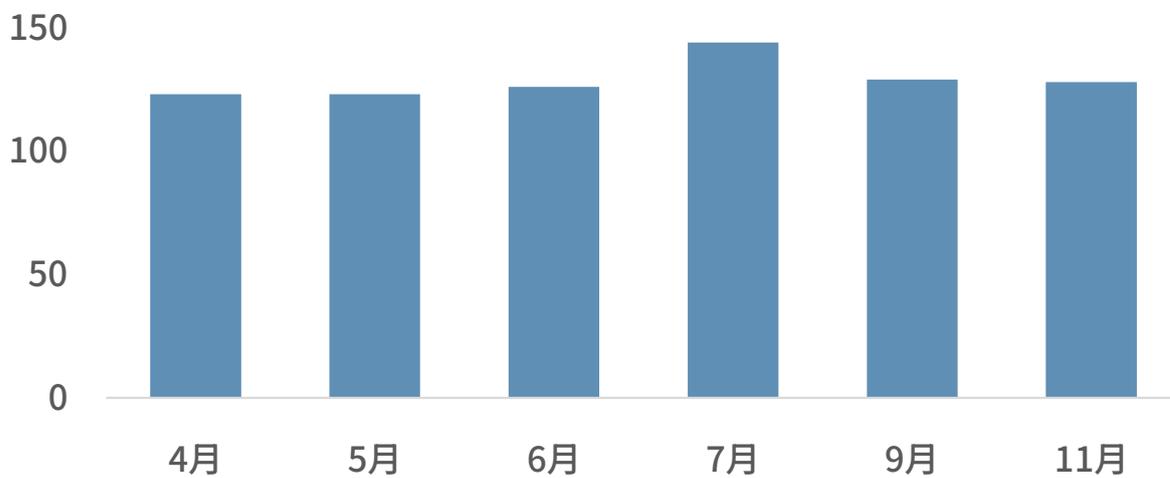
■ 手術した猫の毛色



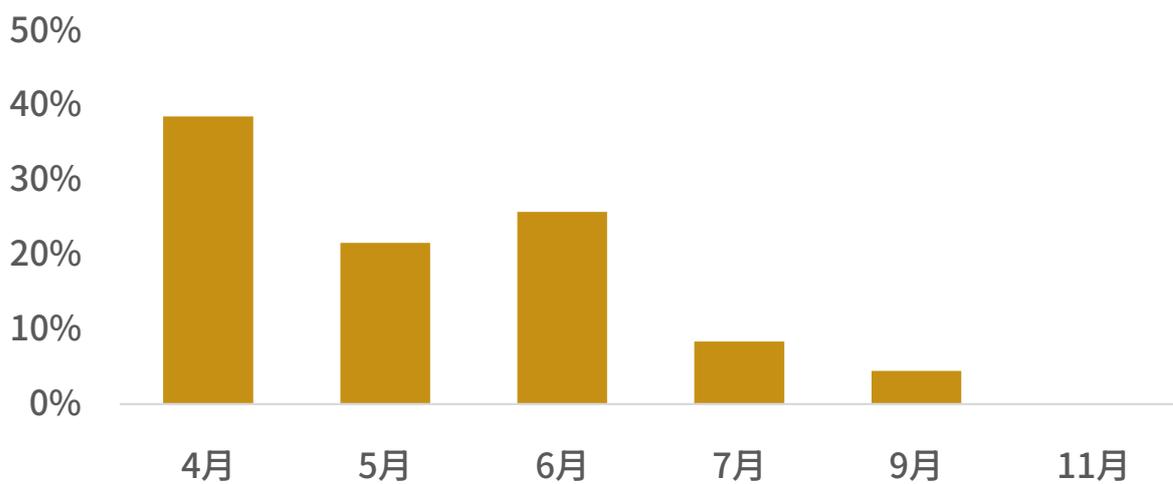
09 手術数と妊娠率の推移など



■ 手術数の推移



■ 妊娠率の推移





■ 捕獲・運搬

手術に備えて絶食・絶水など給餌状況をコントロールし、行政職員、現地ボランティア、餌やりさんなど、関係者で地区を分担して猫の捕獲作業を行います。捕獲した猫は順次、手術会場へ運搬します。



■ 個体管理

手術場所に到着したら、猫の特徴を確認して管理用タグに記載する個体管理に取り掛かります。



■ 術前・術後管理

術前、術後の猫はボランティアによる見守りが行われ、異常があればすぐに獣医師に報告され処置が行われます。

また、管理用タグによって、術前～術後はもちろん、無事に引き渡し完了するまで、トラブルや間違いが発生しないよう努めています。





■ 会場の設営・撤収等

移動診療車による出張手術では、毛刈りなどの処置も獣医師が診療車内で行うため、手術そのものに関わる作業は少なくなります。

しかし、その裏側では、会場の設営や後片付け、手術の受付や猫の引き渡し、待機場所と診療車間の猫の移動、使用済みケージの洗浄、翌日の捕獲準備など、ボランティアの方々が担う役割は実に多岐にわたります。

一つひとつの作業は地味で、時に体力を消耗するものですが、どれも欠かすことのできない大切な工程です。

猫たちが安全に手術を受け、地域の未来につながるTNRが成り立つのは、こうした見えない支えがあってこそです。

現場を支えるボランティアの存在は、まさに地域の力そのものであり、一斉TNRを実現するための欠かせない柱となっています。

ボランティア数は、のべ136人。
多くの方のご協力をいただきました。
ありがとうございました。





宮崎県山間部TNR地域集中プロジェクト決起会

令和7年4月23日 旧五ヶ瀬町立鞍岡中学校で決起会をおこないました。



決起会には地域メディア3社の取材が入りました。





■ ネットニュースに掲載



2025年2月16日小学館「@DIME」
不幸な命をこれ以上増やさない！どうぶつ基金
「宮崎県山間部TNR地域集中プロジェクト」の
新しい試み



2025年4月24日NHK 宮崎NEWS WEB
西臼杵郡 中山間地で野良猫繁殖 獣医師が出向いて不妊手術



2025年5月22日Yahoo!ニュース(宮崎ニュースUMK)
繁殖力の高いネコ 獣医師が山間部を巡回して不妊手術



2025年4月23日Yahoo!ニュース(mrt宮崎放送)
殺処分ゼロを目指して 野良猫など不妊手術を行い
戻す「TNR活動」 西臼杵郡3町で始める



2025年5月22日UMKテレビ宮崎 (宮崎ニュースUMK)
繁殖力の高いネコ 獣医師が山間部を巡回して不妊手術



2025年5月26日BTVチャンネル【公式】 (YouTube)
【西諸】地域と猫をつなぐ新たな場所

13 感謝状贈呈式



■ 高千穂町・五ヶ瀬町・日之影町より感謝状贈呈

2025年11月13日に行われた閉院式では、3町それぞれより「感謝状」を拝受しました。





行政の大きな協力

本プロジェクトは、行政の皆様の多大なる熱意に支えられました。
担当課以外の方、休日返上で駆け付け、搬送や受付にご協力頂いた職員の皆様。

「町」という枠を超え、他町の実施日に行政職員の方が協力に駆け付けてくださいました。



地域を支える若い力の協力

高校生がボランティアとして参加をしてくれました。

地域を支える若い力が、猫問題について積極的に関わってくれることは、地域の未来に大きな力になると確信いたします。





■ プロジェクトリーダー業務内容

- ・ 行政、ボランティアとの打ち合わせ
- ・ 現地調査同行
- ・ 宮崎県から貸与された捕獲機の管理
- ・ 事務手続き

■ 総括

宮崎県の地域猫事業からも見放されていたような状況の、西臼杵3町内で実施されたこのプロジェクトは、多くの猫と猫に関わる町民（主に高齢者）を救う事業となりました。

今回のプロジェクトにおいて、目標としていた手術数の完遂のみならず、山間部における地域づくりのモデルとなる「足跡」を残すことができました。

1. 行政の垣根を越えた「広域連携」の実現

ボランティア不足という課題に対し、日之影町から職員の増員をいただき、バックアップ体制が構築されました。退職した前担当職員が捕獲器洗浄などの実務に駆けつけてくださったことは、官民一体となった活動の象徴となりました。

2. 住民の主体性とスキルの向上

五ヶ瀬町民を中心としたボランティアの皆様には、全日程を通じて会場運営を支えていただきました。特筆すべきは、町民ボランティアの捕獲技術が格段に向上したことです。地域の中にノウハウが蓄積され、今後の継続的な活動において大きな財産となります。

3. 多世代交流と地域教育への貢献

高千穂町の高校生の参画は、この活動が単なる作業ではなく、次世代へ命の尊さを伝える教育の場となったことを示しています。山間部という地理的制約を「近さ」という利点に変え、若い世代が自然に加われる環境が整いました。

4. 当事者の負担軽減と「心のケア」

現場と会場を何度も往復し、全頭手術という悲願を達成した皆様が、「安堵と感謝」を口にされていたことが印象的でした。孤立しがちな現場の苦労を、喜びへと変えることができたのは、本プロジェクト最大の成果です。

総括

今回の「山間部さくらねこの輪」は、猫の問題解決を通じて、人と人の繋がりを再構築するプロジェクトとなりました。ここで生まれた「連携の輪」を絶やすことなく、次なる一歩へ繋げて参ります。



プロジェクトリーダー
山本清美さん



2024年10月、地域が抱える課題を重く受け止めた3町より、どうぶつ基金へ支援を求める要望書が提出されました。これに対し、3町のみならず宮崎県からも後援名義をいただくなど、多大なる後押しをいただいたことで、本プロジェクトの実施が決定し、スタートいたしました。

実施にあたっては、行政職員の皆様が会場設営から捕獲、リターンに至るまでボランティアと手を取り合い、自治体の枠を超えて献身的にご協力くださいました。その結果、当初の想定を大きく上回る773頭もの不妊手術を無事に完了することができました。

当初は7月までの計画でしたが、住民の方々からの反響と追加実施を求める声が相次ぎ、9月と11月にも急遽実施いたしました。行政とボランティアが一丸となって活動した姿が、地域住民の皆様への深い関心と信頼を得ることに繋がったのだと確信しております。

しかし、さくらねこTNRは手術をして終わりではありません。術後の「見守り」を継続してこそ、本当の成功が見えてまいります。特に高齢化が進む地域においては、住民の暮らしに寄り添い、福祉の観点からも包括的な状況把握ができる「行政」だからこそ果たせる役割があります。

さくらねこTNRを真の成功へと導くため、今後とも行政と地域が連携した、温かい見守りをよろしくお願い申し上げます。





捕獲して 不妊手術&さくら耳カット 元の場所に返す

どうぶつ基金
公式HP



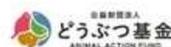
どうぶつ基金の活動をみる▲

中山間部で生きるねこに無料で不妊手術

主催：公益財団法人どうぶつ基金 協働：高千穂町・五ヶ瀬町・日之影町

ねこの無料不妊手術の予約 / お問い合わせはこちら▼

高千穂町民生課 0982-73-1203・五ヶ瀬町民生課 0982-82-1704・日之影町民生課 0982-87-3802



公益財団法人どうぶつ基金

高千穂町・日之影町・五ヶ瀬町

高千穂町まち.ねこ共生環境づくり協議会

鞍岡地区女性部

日之影町住民有志



公益財団法人
どうぶつ基金
ANIMAL ACTION FUND

659-0004 兵庫県芦屋市奥池南町71-7 TEL:0797-57-1215 FAX:0797-25-2075

contact@doubutukikin.or.jp www.doubutukikin.or.jp

どうぶつ基金